

10月1日、気象庁では「緊急地震速報」をスタートします

「緊急地震速報」とは、地震による大きな揺れが来る前に「これから大きな揺れが来ます」とお知らせする情報です。わずか、数秒〜数十秒の猶予時間ですが、大きな揺れが来る前に、机の下に身を隠したり、火の始末をするなど、パニックにならずに冷静な行動をとることにより被害を軽減することが期待されます。

「緊急地震速報」は秋から、テレビ・ラジオなどでお知らせします。数秒間で、あなたができることを考えてみましょう。

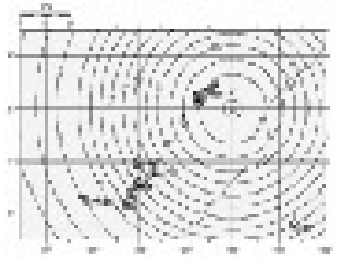


たとえば、1911年に奄美大島の近くで実際に起きた大きな地震(マグニチュード8.0)で説明します。

この地震では、那覇で震度5を観測して大きな被害になったんだよ。

「緊急地震速報」は、北部では大きな揺れの約35秒前、那覇では約55秒前に地震が来ることを知らせることができるんだ。

同心円上の数字は、緊急地震速報が放送されてから大きな揺れが来るまでの猶予時間(秒)です。



◎緊急地震速報の限界

震源に近い地域では、「緊急地震速報」が間に合わないことがあります。

「緊急地震速報」が出たらどうすればいいの？

◎家庭では(これが、基本！)

- ①頭を保護し、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下などに隠れる
- ②あわてて外へ飛び出さない
- ③その場でできるなら火の始末
- ④扉を開けて避難路確保

◎多数の人が出入りする集客施設などでは

- ①施設の従業員等の指示に従う
- ②その場で、頭を保護し、身構える
- ③出口・階段に殺到しない
- ④釣り下がっている照明などの下から退避

◎自動車運転中は、

- ①あわててスピードを落とさない
- ②ハザードランプを点灯するなどして、減速する

市民サービス評価 (平成19年5月分)の公表

市民のみなさまからいただいた市民サービス評価の結果の一部を掲載いたします。詳細については、ホームページもしくは各庁舎玄関ロビーの掲示資料をご覧ください。

◎市民サービス評価満足度(5点満点)

評価件数20件

- ①あいさつ(3・54点)
  - ②言葉づかい(3・48点)
  - ③態度(3・54点)
  - ④説明(3・56点)
  - ⑤待ち時間(3・71点)
  - ⑥案内表示(3・73点)
- 全体的評価(3・59点)

行政改革推進室  
☎973-5403

◎市民からの疑問や要望に対する回答 地域インターネットの故障について

Q 「インターネットが早く使えるようにしてほしい。4月に来た時も故障中でした(勝連庁舎1階窓口)。

A 「ネットワーク、パソコン配置を調整しておりましたが、6月中には利用できるようになります。」

情報課

図書館の検索システムについて

Q 「コンピュータの検索の仕方を以前のように簡単にして欲しい。」

A 「コンピュータシステムの更新により、検索の仕方が変わっており、利用する方によってはそのように思われるかも知れません。更新後は、検索速度もアップし、うるま市内の3館の資料について調べることができますし、コンピュータを使って本の予約申込みもできるようになりました。操作について分からない時は、カウンター職員へご遠慮なくおたずねください。」

中央図書館